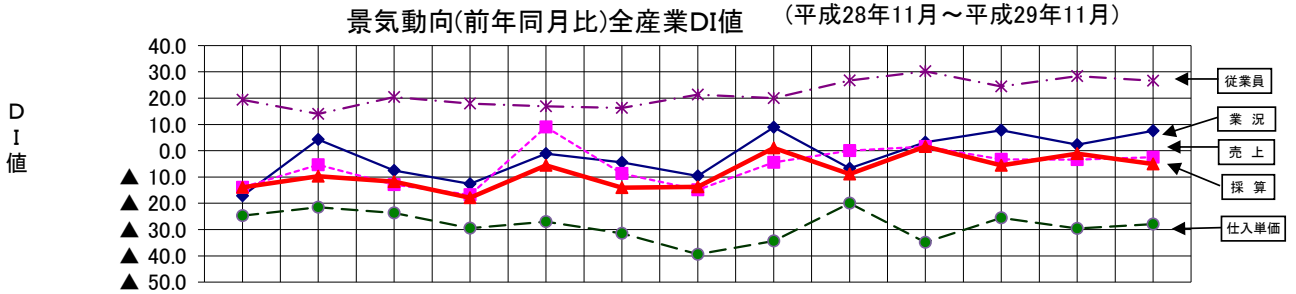


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 11月分

【11月の概要】 景況感はやや改善の動き、先行きは依然として慎重な見通し

10月に比べると、売上DIのプラス幅は増加し、仕入単価DIと採算DIのマイナス幅もやや減少した。業況DIのマイナス幅は増加、従業員DIのプラス幅はやや減少している。建設業では業界全体で景況感が出て順調、製造業やサービス業の一部でも好調との声が聞かれるが、全体的に景況回復の動きは、依然として小幅に推移している。先行きについては、10月に比べ、売上DIと業況DIのプラス幅が減少。仕入単価DIのマイナス幅もやや増加し、採算DIのマイナス幅が増加している。従業員DIのプラス幅は減少した。人手不足による労務費や仕入コスト増などが今後の採算改善に影響を及ぼしていると推察され、今後の景況感には慎重な見方をする傾向が出てきている。



	平成28年 11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	平成29年 11月
◆ 売上	▲ 17.2	▲ 4.3	▲ 7.5	▲ 12.6	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 9.6	▲ 8.9	▲ 6.7	▲ 3.2	▲ 7.8	▲ 2.3	▲ 7.6
■ 採算	▲ 14.0	▲ 5.4	▲ 12.9	▲ 16.8	▲ 9.0	▲ 8.7	▲ 14.9	▲ 4.4	▲ 0.0	▲ 1.6	▲ 3.3	▲ 3.4	▲ 2.5
▲ 業況	▲ 14.0	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 17.9	▲ 5.6	▲ 14.1	▲ 13.8	▲ 1.1	▲ 8.9	▲ 1.6	▲ 5.6	▲ 1.1	▲ 5.1
● 仕入単価	▲ 24.7	▲ 21.5	▲ 23.7	▲ 29.5	▲ 27.0	▲ 31.5	▲ 39.4	▲ 34.4	▲ 20.0	▲ 34.9	▲ 25.6	▲ 29.6	▲ 27.9
* 従業員	19.4	14.0	20.4	17.9	16.9	16.3	21.3	20.0	26.7	30.2	24.4	28.4	26.6

【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

売上DIは5.3ポイントプラス幅が増加し、仕入単価DIは1.7ポイント、採算DIは0.9ポイントそれぞれマイナス幅が減少したが、業況DIは4.0ポイントマイナス幅が増加している。従業員DIは1.8ポイントプラス幅が減少した。

全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	仕入単価	従業員	業況
10月	9.1	▲ 2.3	▲ 25.0	35.2	2.3
11月	5.1	▲ 10.1	▲ 25.3	26.6	1.3

先行きは、売上DIは4.0ポイント、業況DIは1.0ポイントと、それぞれプラス幅が減少した。仕入単価DIは0.3ポイントマイナス幅が増加して、採算DIも7.8ポイントマイナス幅が増加した。従業員DIは8.6ポイントプラス幅が減少した。

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	塗装工事	民間工事が順調に進んでいる。
	総合建設	同業社での大きな物件発注は見通せないが、業界全体は景況感が出ているようだ。
製造業	機械部品	仕入単価では素材・エネルギー・物流関係の値上り要請が続く。生産能力を上回る受注が続いている。
	食料品	法要、葬儀などが小型化・簡素化になり、食材や引き出物などの販売が減少している。
卸売業	日用雑貨	季節の変化が強い。市況はよくない。
	土木資材	歳末を控え、竣工時期が到来し、引合い数が増加している。
小売業	自動車	メーカーの完成検査問題の影響で、軽自動車以外の新車の登録が出来ない期間が発生したため、10月・11月の新車売上が極端に落ちた。12月以降正常化に向う見込み。
サービス	ソフトウェア	新潟市内のソフト外注単価は変わらない。生産管理システムの販売が伸びない。
	運輸	季節商品の貨物量は、比較的好調で、今後も拡大が期待できる。
	不動産	店舗閉鎖が目立って増加している。